国民所得論 :学期末試験問題

伊藤幹夫

持ち込み不可

1. 次の用語を解説せよ。(それぞれ 2 行以内)
   (a) 付加価値
   (b) 恒常所得仮説
   (c) 資本の減価償却
   (d) 総合収支
   (e) 合理的期待形成
   (f) メニューコスト
2. １年あるいは、せいぜい 2 年にわたる所得減税は、景気刺激政策として有効でないという指摘がある。実際この平成不況下で行われた所得減税は、あまり有効でなかったと思われる。何故か。理論的に述べよ。また、１年限りの所得減税が消費支出に増加に結びつくのは、どの程度か論ぜよ。(5 行以内)
3. 資本の減価償却率の上昇は、投資支出を増やすか減らすか ?また、その理由を述べよ。(4 行以内)
4. 財政法の第 5 条で、国債の日銀引き受けが禁じられているのはなぜか ?IS-LM 曲線図を利用しながら、述べなさい。(5 行以内)
5. バブルとは何かを理論的に説明せよ。(7 行以内)
6. 1980 年代に入ってから登場した新ケインズ派の経済学者が、財政 ・金融政策の有効性を論証しようとするとき、どのような前提をおいているか述べよ。(5 行以内)